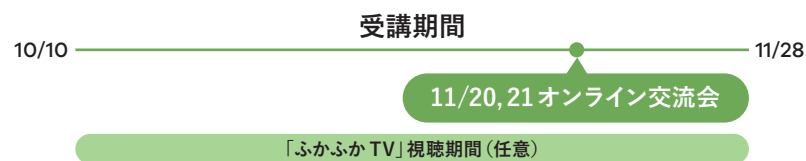


全体のスケジュール

eラーニング

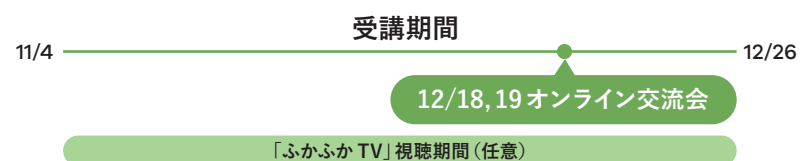
●募集
9/1～9/21
●抽選・登録
9/22～10/9

第1期



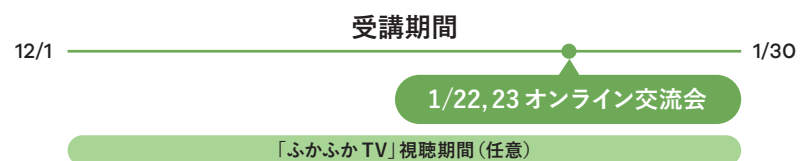
●募集
10/1～10/13
●抽選・登録
10/14～10/31

第2期



●募集
11/5～11/16
●抽選・登録
11/17～11/28

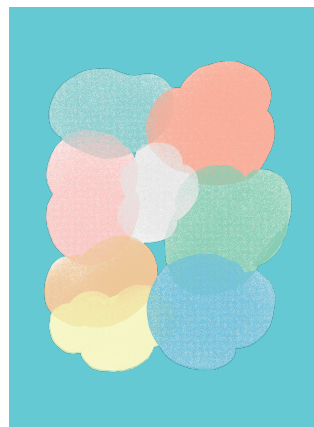
第3期



※「対面ワークショップ」
の募集なし

対面ワークショップ

※eラーニングを受講済であることが条件



ふかふかなミュージアムって？

シンボルマークの「ふかふか」には、さまざまな意味を込めています。

- 柔軟な対応を目指して「ふかふか」なマインドを育てよう
- アクセシビリティの芽が育つ「ふかふか」な土壌となる環境をつくろう
- 「孵化(ふか)」するように新たな気持ちで挑戦し、実践につなげよう

ミュージアムが多様な主体とつながり、対話を重ねることで、だれにでもやさしい“ふかふか”なミュージアムになる姿を思い描き作成しました。

イラストレーション：西 淑 デザイン：樽見 星爾

問い合わせ

担当：NCARラーニング「ミュージアム運営のためのアクセシビリティ研修」

メールアドレス：fukafukatv.ncar@artmuseums.go.jp

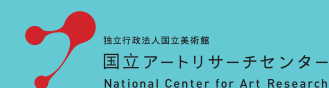
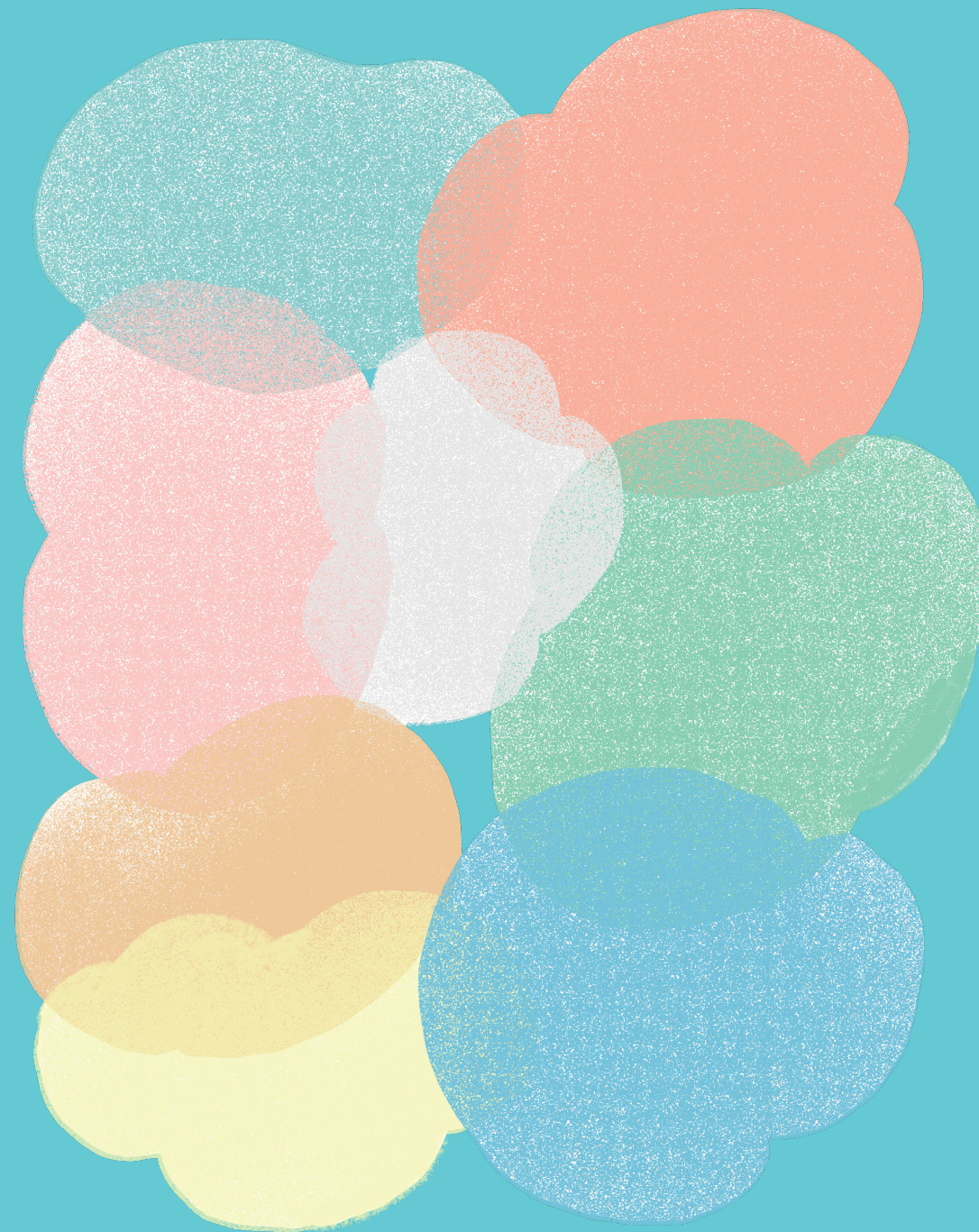
主催：文化庁、独立行政法人国立美術館

企画・制作：独立行政法人国立美術館 国立アトリサーチセンター



文化庁委託事業「令和7年度障害者等による文化芸術活動推進事業」

ミュージアム運営のための アクセシビリティ研修



ミュージアム運営のためのアクセシビリティ研修

国立アートリサーチセンター^{エヌカー}（NCAR）では、ミュージアムで働く職員や関係者がアクセシビリティについて学ぶ研修を開催します。あらゆる人が安心してミュージアムを利用でき、文化的な楽しみにアクセスできる機会を充実させることを目的としています。

アクセシビリティを進めるうえで重要なキーワードである「合理的配慮」と「情報保障」を軸に、学びを深められる内容となっています。また、全国どこからでも参加できるオンラインのシステムにより横断的なコミュニケーションを促し、この分野の知見の交流を活性化させることも目指しています。

今後のミュージアム運営において求められるアクセシビリティ・社会包摂の取り組みを始めるための、基礎的な知識を得ることができるスタートアップの研修です。

背景にあるのは、さまざまな法整備やミュージアムを巡る世界の動き・・・

2022

国際博物館会議（ICOM）のプラハ大会で採択されたミュージアムの定義には「誰もが利用でき、包摂的であって、多様性と持続可能性を育む」という文言が明記されました。

2023

令和5年4月に施行された改正博物館法に基づく関連法令では、博物館の登録条件に参酌されるべき内容として「高齢者、障害者、妊娠中の者、日本語を理解できない者その他博物館の利用に困難を有する者が博物館を円滑に利用する」ことが明記されました。

2024

令和6年4月に施行された改正障害者差別解消法において「合理的配慮」が全事業者に完全義務化されました。その他にも、障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法（令和4年施行）や手話施策推進法（令和7年施行）など、「情報保障」に関する法整備も次々と進められています。

応募要件

【対象】
ミュージアム（美術館・博物館等）*の運営主体

※上記施設の運営主体から委託や連携等をしている団体（例：受付・看視、レストラン業務等の運営委託を含む事業者団体や市民団体等）などと共同して応募することもできます。ただし、委託・連携している団体のみの応募は原則不可となります。

*対象となるミュージアムとは、博物館法に基づく博物館全般を指します。考古・歴史・民俗・文学などの人文科学系博物館、自然史・理工学などの自然科学系博物館や、水族館、動植物園のほか、資料館や記念館なども含みます。

【定員】
各団体において100名以内（応相談）

※第1期、2期、3期の各募集期間内において、申し込み団体が多数の場合は抽選となります。

【費用】
参加費無料

※「対面ワークショップ」を申し込む場合は、講師の旅費の実費負担と会場の確保が必要です。

研修内容

eラーニング プラン

オンラインで受講可能な学習管理システム（LMS）に団体として登録し受講します。
全員が研修動画を視聴し、振り返りの回答を記入後に各団体の担当者からの報告をもって受講完了となります。

- 基本内容
- 館長含む運営監督者層コース：動画1本（45分）
 - 職員スタッフ等コース：動画3本（合計90分）
 - NCARが発行・刊行している教材を無料配布

さらに学びを深めたい方のために

①

他団体の受講者と学び合うことができる「オンライン交流会」を開催します

②

令和6年度にNCARが制作した「ミュージアム・アクセシビリティ講座 ふかふかTV」の講座番組を視聴の上、修了要件を満たすと修了証が発行されます

※本研修に登録している団体に属する個人が、任意に受講できるプログラムを用意しています。詳細は、右下のQRコードよりNCARウェブサイトをご確認ください。

eラーニング + 対面ワークショップ プラン

「eラーニング」プランの受講に加えて、アクセシビリティ・社会包摂の考え方を事業運営に活かすために組織内で議論を深めたい団体へNCARより講師を派遣します。ワークショップ型の対面研修（所要時間は最大4時間）を受けることができます。
定員：10件（申し込み多数の場合は抽選）
〈申し込みの条件〉

- 「eラーニング」プランの受講に加えて、課題動画1本を参加者が見終えていること
 - 研修の参加人数が20～50名集まること（複数館での合同開催も可能）
 - 実施会場の確保ができること（費用がかかる場合は申込者負担）
- 〈費用〉
- 講師の旅費（独立行政法人国立美術館の規定に基づく交通費、宿泊費）

申し込み方法

各団体の研修等の担当者が取りまとめ役として、NCARウェブサイトのイベントページに掲載されているフォームよりお申し込みください。申し込みにあたり、以下の情報をご確認ください。（現段階の予定で構いません）

- 団体内の受講予定の合計人数
- 「eラーニング」プランの受講予定者の所属や内訳人数
- 「対面ワークショップ」への申し込みの有無（申し込む場合は、希望時期等の情報が必要です）



https://ncar.artmuseums.go.jp/events/d_and_i/post2025-2682.html

募集期間・受講期間

3期に分けて、募集・開催します。
ただし、第3期は「対面ワークショップ」の申し込みができません。

	募 集	受 講 開 始	終 了
第1期	2025年9月1日(月)～21日(日)	2025年10月10日(金)	2025年11月28日(金)
第2期	2025年10月1日(水)～13日(月祝)	2025年11月4日(火)	2025年12月26日(金)
第3期	2025年11月5日(水)～16日(日)	2025年12月1日(月)	2026年1月30日(金)

全体のスケジュールは次のページをご覧ください。